

海軍二四

明治三十二年五月一日

内閣總理大臣

法制局長官

外務省

西

蔵省

海軍省

文部省

逓信省

正

農商省

出

陸軍省

司法省

農商省

別紙海軍大臣請議海軍主計官
練習所條例制定ノ件ヲ審査スルニ
海軍少主計候補生ノ實務練習ニ
関スル現行ノ設備ハ未タ其全ヲ得ス

又筆記厨宰ニ関シテモ亦一定ノ
教習所ナシ依テ主計官練習所ヲ設
ケ主トシテ少主計候補生ニ必要ナ
ル職務ヲ練習セシメ兼ネテ主計官筆
記厨宰ニ必要ナル實務ヲ練習セシメン
力為本條例ノ制定ヲ要スト謂フニ在
リ其豫算ハ既ニ議會ノ協賛ヲ經タ
ルモノニシテ相當ノ儀ト思考ス依テ請
議ノ通閣議決定セラレ可然ト認ム
但シ呈案附箋ハ主務省ト協議

濟

勅令案

呈案附箋ノ通

參照

○海軍高等武官補充條例

明治三十年九月
勅令第百十四号

第七條

海軍少主計候補生ハ官立公立尋常中學

校ヲ卒業シ若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有シ且

法律及經濟學ヲ教授スル學校ニ於テ三年以

上ノ課程ヲ終ヘタル者ニシテ身體檢查及採用

試験ニ合格シタル者ヨリ採用ス

第十六條

海軍少尉、少機関士ハ各其ノ候補生ヨリ

又他ノ少尉相當官ハ各其ノ候補生及左ノ資格

ノ一ヲ有スル者ヨリ任用ス但シ兵曹長及其ノ相

當官ノ任用ハ第四章ニ依ル

一 私費ヲ以テ外國ニ留學シ相當ノ學術ヲ修

メ卒業シタル海軍出身志願者ニシテ採用

試験ニ合格シタル者但シ適當ノ卒業證書ヲ得タル者ニ在テハ試験ヲ用井ス採用スルコトヲ得

二 帝國大學元東京大學元工部大學校ニ於テ海軍高等武官タルニ必要ナル學術ヲ修メ卒業シタル者

三 文官高等試験ノ合格證書ヲ有スル者
前項第一乃至第三ニ該當スル者ヨリ任用スルトキハ官費學生ヲ命シタルトキ身體検査ヲ行ヒタル者ヲ除ク外身體検査ヲ行フ

第六條 第十六條第一乃至第三ノ資格ノ一ヲ有シ相當ノ實歴アル者ハ採用委員ノ銓衡ヲ經テ大尉相當官若ハ中尉相當官ニ任用スル

コトヲ得

○海軍少主計候補生實務練習規則

明治三十一年九月連第九十五号

第一條 海軍少主計候補生ハ陸上ニ於テ八ヶ月以上艦内ニ於テ四ヶ月以上實務ヲ練習セシム

第二條 少主計候補生ノ陸上練習期間ハ横須賀海兵團附トシテ在團セシメ艦内練習期間ハ在役艦ニ彙組マシム

第三條 少主計候補生ノ陸上實務練習ハ横須賀海兵團及横須賀鎮守府經理部ニ於テ之ヲ爲サシム其ノ時間ハ實務練習ノ目的ニ從ヒ經理部長海兵團長ト協議シ之ヲ定ムヘシ

第四條 海兵團長ハ副長主計長、軍艦長ハ主計長ヲシテ少主計候補生實務練習ノ指導者タラ

シノ又海兵團長ハ武科ヲ習得セシムル爲メ准士官
若リハ下士卒ヲシテ指導者ノ補助タラシムヘシ
經理部長ハ部下主計官ノ内ヲ指定シ少主計候
補生實勢練習ノ指導者タラシムヘシ又當該
鎮守府所管各部勤務主計官ノ内ヲシテ指導
者タラシムルノ必要アルトキハ司令長官ニ申請シ
司令長官ハ其ノ指導者ヲ指定スヘシ

第六條

少主計候補生實勢練習ノ概目ハ左ノ如シ

- 一 海兵團ニ在テハ軍人ノ體容ヲ得セシムルヲ旨トシ海軍ノ紀律禮式ニ関スル事項ヲ識得セシメ海軍銃隊操式端艇橈漕其ノ他武科ノ初步ヲ習得セシム

- 一 鎮守府經理部ニ在テハ計算事務其ノ他

會計經理ニ関スル定規程式ヲ獨立ニ施行スルコトヲ得セシメ又海軍組織ニ関スル制規ヲ識得セシムルヲ旨トシ海軍官制條例及諸法規豫算、決算、出納、諸給與、工事、物件等會計ニ関スル規程ヲ講演シ之ヲ實勢方ニ照シテ練習セシム

- 一 軍艦ニ在テハ艦内經理ノ要領ヲ習得セシメ海軍諸官廳及他ノ軍艦ニ對スル職務關係ヲ識得セシムルヲ旨トシ金錢ノ出納、諸給與、糧食、被服、需品ノ準備貯藏配給交付庶務等ニ関スル實勢ヲ練習セシム

第七條

前條ニ掲グル實勢練習ノ外海兵團長ハ實勢練習時間外ニ於テ適宜團内ノ主計事

啓カヲ補助セシムルコトヲ得又鎮守府経理部長ハ
各候補生ヲシテ外國語英佛獨ヲ兼修セシムルノ
便宜ヲ圖ルヘシ

官房第一二三号ノ二

存年官房第一二三号ノ二
提出お申上り海軍省研究官孫昭所條例
官欠ハ之ヲ二年改定官昇ニ編入有之
義ハ之ヲ此中達也
明治三十四年四月十一日

海軍省研究官高橋 宣



法創事長官平田東助改

海軍省研究官高橋 宣

海軍主計官練習所條例制定件

從來召募、海軍少主計候補生、横須賀海兵
團に入團せしめ當該鎮守府經理部に於て本職
アル主計官ニ指導、任務ヲ命じ候補生ヲミテ
主計官タルニ必要、實務ヲ練習せしめ來りしモ
元來經理部、如キ事務繁劇、廳ニ於て之
力指導ノ任ニ當ル者ハ本務、爲メニ指導專ラ
ナル能ハス遂ニ實務ノ練習周到ヲ缺キ後日主
計官トシテ其ノ職務ヲ執ルニ當リ往々遺憾ナ
キ能ハサル所アリ於是乎能ク實務ヲ練習せしめ
得ハキ練習所ヲ置キ以テ會計經理ニ關スル必
要、實務ヲ練習せしめ又必要ニ依リ海軍高等武
甲二四

官補充條例第十六條及第十八條ニ依リ任用セラレタ
ル主計官等ノ如キ其他上等筆記ニシテ仍ホ實務
經驗ノ少キモノヲモ併セテ練習セシメ将来會計
事務ノ敏達ヲ期スルコトニ遺憾ナカラシコトヲ要ス
次ニ主計部下士ハ現今一定ノ教習所ナク之カ爲
メ新募筆記ノ如キ概テ計算事務ニ通セズ軍
艦團隊ノ會計經理其他實務執行上其ノ用ニ適
セサルヲ以テ之ニ相當ノ時日ヲ與ヘ經理事務ノ一端ヲ
習熟セシムルハ亦緊急ノ事ニ屬ス厨宰ノ如キ是亦
必要ノ習熟ヲ缺キ職務適切ナラサルハ已往ノ實
驗ニ徴スル所ナリ仍テ海軍主計官練習所條例
制定ノ必要ヲ認メ別紙勅令按テ具ヘ茲ニ鑒議
ヲ請フ

(中略)

明治三十二年三月二十日

海軍大臣 山本權兵衛



内閣總理大臣 齋藤 有朋 殿

朕海軍主計官練習所條例制定、件ヲ裁可
ス茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年五月二日

海軍大臣

(中略印行)

勅令第百九十二號

海軍主計官練習所條例

第一條

海軍主計官練習所ハ少主計候補

筆記^{（海軍主計官ニ必要ナル職務ヲ練習セシムル所トス）}練習所ニ依リ主計官及上等筆記ヲシテ其ノ

職務ヲ練習セシムルヲ得

第二條

前條ニ依リ練習スル主計官及少主計

候補生ヲ學生ト稱シ上等筆記及筆記厨

第三條

海軍主計官練習所ニ左ノ職員ヲ

置ク

勅令第百〇三號

海軍主計官練習所條例

第一條

海軍主計官練習所ハ少主計候補

生及主計官ニ必要ノ職務ヲ練習セシメ

筆記屋宇ヲシテ實務ヲ練習セシムル所ト

ス

ノ外必要ニ依リ主計官及上等筆記ヲシテ其ノ

職務ヲ練習セシムルヲ得

第二條

前條ニ依リ練習スル主計官及少主計

候補生ヲ學生ト稱シ上等筆記及筆記厨

宰ヲ練習生ト稱ス

第三條

海軍主計官練習所ニ左ノ職員ヲ

置ク

勅令第百〇二號

海軍主計官練習所條例

第一條

海軍主計官練習所ハ主計候補

筆記^{（主計官）}車主計官ニ必要^{（主計官）}職務ヲ練習セシメ
筆記^{（主計官）}車主計官ニ必要^{（主計官）}職務ヲ練習セシムル所ト

ス
外必要ニ依リ主計官及上等筆記ヲシテ其ノ
職務ヲ練習セシムルヲ得

第二條

前條ニ依リ練習スル主計官及主計

候補生ヲ學生ト稱シ上等筆記及筆記厨
宰ヲ練習生ト稱ス

第三條

海軍主計官練習所ニ左ノ職員ヲ

置ク

所長
監事
教官

第四條

所長ハ海軍大臣ニ隸シ所務ヲ總理ス

第五條

監事ハ所長ノ命ヲ承ケ學生及練習

生ヲ監督ス

第六條

教官ハ所長ノ命ヲ承ケ各學科ノ教

授ヲ擔任ス

第七條

海軍主計官練習所ニ書記ヲ置

キ上官ノ命ヲ承ケ服務セシム

第八條

學生ノ學用品ハ自辦トス但シ

書籍及器械等ハ其ノ種類ニ依リ貸與ス

ルコトアルヘシ

(申請印行)

第九條

海軍主計官練習所ノ定員ハ別表定

ムル所ニ依ル

附則

第十條

此ノ條例ハ明治三十二年五月一日ヨリ

施行ス

(中略即行)

海軍主計官練習所定員表

所長	主計大監	一	兼務	
監事	主計少監	一		書記
	大主計	一		二
教官	主計監	三	兼務	
	大主計	二		
小計		八	人	二人
合計		十	人	